

着mono通信

yoroduya

2025・12
vol.87



よろづ屋
着物・和のこと Salon

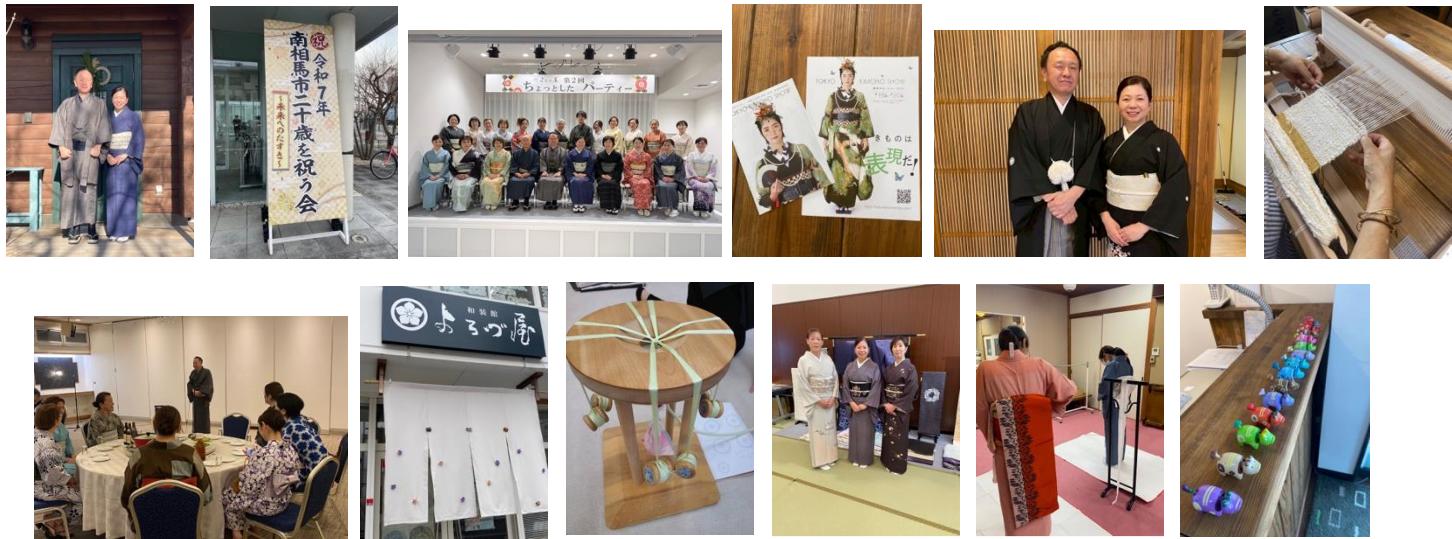
原町本店
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL: 0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL: 0246-85-5298

みなさまこんにちは！あっという間に師走です！2025年も終わろうとしていますが、今年はみなさまにとってどんな1年でしたか？私は相変わらずの忙しさで駆け抜けた1年でしたが、新しい出会いや人生の節目となる出来事があった1年でした。そんな中、私の今年一番のニュースといえば、ドジャース優勝、大谷翔平3年連続MVPと言いたいところですが、やはり日本初となる女性首相誕生です。同じ女性として大変誇らしく、大いに期待したいところです。私も働いて、働いて、働いて、たまに休んで楽しんで、来年もまた皆様と楽しく健やかな日々を送りたいです！！

< 2025年も大変お世話になりました！>

2025年もお客様みなさまのおかげで、1年間つつがなく営業できましたことを感謝申し上げます。今年は夏の猛暑の影響やお米や物価の高騰など、私たちの生活もなかなか厳しい年でした。そんな中でも、たくさんの着物好きなお客様と楽しい日々を過ごすことができ、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。また来年も、新しい商品やみなさまに楽しんでいただける企画をたくさん用意しておりますので、着物を通してたくさん楽しみましょう！！



♪♪和のことサロン♪♪



・はた織り教室（原町本店）
12月は10日（水）、11日（木）、12日（金）の予定です。

・つまみ細工教室 12月25日（木）14:00~16:00

お問い合わせは原町本店まで 0244-24-2929

・組紐教室についてはいわき店までお問い合わせください。

0246-85-5298

< お客様コーディネート紹介コーナー >

当店のInstagramやFacebookなどで紹介させていただいております、お客様のコーディネートをこちらのコーナーでもご紹介します！

成謙工房の附下に刺繡の袋帯。同系色でコーディネートされています。小物に明るいグリーンをプラスしてアクセントに。相良刺繡の帯が際立ってます。



オレンジ色の紬に落ち葉柄の名古屋帯。帯は銀座結びにしてカジュアルな装いに。小物にも赤やグリーンを使い、秋色のコーディネートです。



桜色の無地の紬にハ寸帯。鮮やかなブルーの帯揚げがアクセントになり、カジュアルな雰囲気を華やかにしています。丸ぐけの帯締めもGOODです！



淡いブルーグレーの附下に菱屋善兵衛の袋帯。全体的に色のトーンを揃えてスッキリとした印象に。フォーマルになりすぎないシンプルなコーデです。

＜きもの語 辞典＞ふの巻

着物に関して、わからない言葉や知りたい言葉などたくさんあると思います。専門用語が飛び交う中で？？に思うこともありますよね。そんな着物にまつわる言葉を集めて簡単にご紹介していくコーナーです。

くふき（ふき） > 和服の部分名称。衿や綿入れ着物の袖口と裾に、裏地を表にはみ出して仕立てた部分のこと。表布の汚れや傷みを防ぐための工夫であり、着物の配色のデザイン性も大事なところです。

く袋帯（ふくろおび） > 女帯の一種。名称通り帯地が袋状になっており、二重太鼓などを結べる長さのある帯です。格のある着物に締める礼装袋帯、礼装以外の紬などに合わせるおしゃれ用のしゃれ袋帯があります。

く振り（ふり） > 袖部分の名称で、袖付から袖下までの開いた部分のこと。中振袖や大振袖を略して「中振り」「大振り」という時にも使います。振りから見える長襦袢の袖との調和もおしゃれのポイントです。

・・・女将のつぶやき・・・

みなさんご存知、食いしん坊の女将ですが、先日友人の誕生日祝いで浪江にあるフランス料理店「ジョワリストナミエ」通称「ジョワナミ」さんに行ってきました。フランス料理なんて、高級では？マナーは？など食堂のチャーハンが大好物の私にとっては、初めてのお店でドキドキ。気軽になんでも聞ける優しい店員さんがいろいろ教えてください、アラカルトで注文しました。おすすめのお料理はどれも美味しい、3品を3人で食べて大満足の内容でした。特に写真の鴨の？？？（料理名は覚えられない）が美味しかったです♪仕上げの手作りデザートも美味しかった！お近くにお越しの方はぜひ足を運んでみてください！！

＜きもの歳時記＞ ～知って楽しい和の知識～ おしゃれは足元から・草履

草履は、着物に合わせる日本の伝統的な履物で、台と花緒でできています。礼装用は金銀や光沢のある素材を使い、すっきり上品なデザインが特徴です。訪問着や留袖など、改まった場面にふさわしい足元を演出します。一方、カジュアル用は布や皮など柔らかな素材や色柄が多く、小紋や紬に合わせておしゃれを楽しめます。

台の高さは、フォーマルほど高めで上品に、普段履きは低めで歩きやすいものが向いています。花緒の太さや素材によっても履き心地が変わり、足当たりの柔らかさや歩きやすさのポイントになります。

草履とよく比べられる下駄は、主に木の台で作られたカジュアルな履物です。カラソコロンとした音や涼しげな雰囲気が特徴で、浴衣や夏の装い、紬などにもぴったりです。原町本店では4日から草履のお説明会を開催します！お楽しみに！

